

## JANS 若手の会第3回

### 甲信越・北陸エリア検討会 報告書

2023年9月23日(土) オンラインで、第3回甲信越・北陸エリア検討会を開催いたしました。今回のテーマは、「私のキャリアパス」です。大学で教育・研究活動に従事しておられる佐藤大介先生(福井大学)と、臨床で実践と研究活動に従事しておられる飯嶋勇貴先生(長野市民病院)のお二人に、ご自身のこれまでのキャリアについてお話をいただきました。

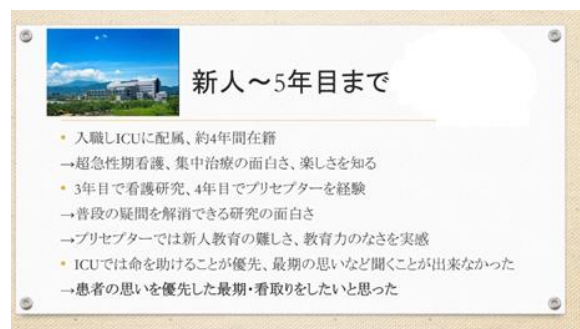
佐藤先生からは、現在の主要な研究テーマの一つである遠隔看護が生まれた背景について、男性看護師として外科系病棟で勤務する中で抱いた疑問とそれを解決すべく修士・博士課程へと進学された経緯についてお話いただきました。くわえて、東日本大震災の経験を契機に取り組み始めた災害看護学の研究と学会活動についても言及され、成人看護学と災害看護学という二足の草鞋を履きながら日々、教育・研究活動に邁進しておられる先生の人となりをじっくり伺うことができました。



(佐藤先生：ご発表 PPT の一部)

飯嶋先生からは、臨床から大学教員へ、そして再び臨床へ戻られたこれまでのキャリアについてお話いただきました。集中治療室という救命を主な責務とする場で働く中で生じた“患者さんの思い”をくみ取ることの難しさを感じ病棟異動を希望したこと、新人看護師への指導経験から“教育”の難しさを実感し教育現場に移動したことなど、様々なエピソードが語られました。最後に、もう一度、臨床に戻ることを決意された背景にあるラ

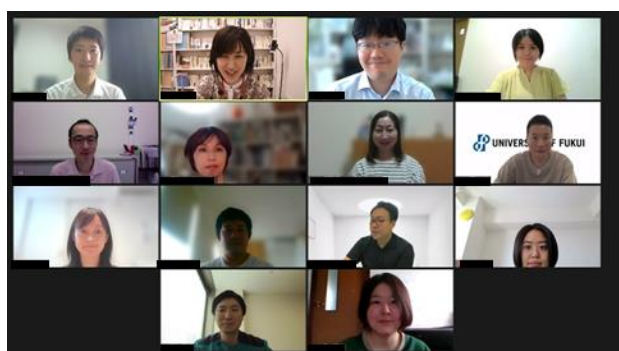
イフイベントの変化や家族のキャリアについても言及されました。



(飯嶋先生：ご発表 PPT の一部)

お二人に共通していたのが、現状に満足することなく、常に疑問を持ち、それを解決していこうと能動的に行動に移していく強さとしなやかさです。こうした柔軟性を兼ね備えているからこそ、多くの他者との出会いを生み、新たな路が開かれ、今のお二人のキャリアを形作ったのだと、強く実感しました。沢山の勇気と希望を頂き、今後の自分のキャリアを振り返る贅沢な時間となりました。終了後のアンケートからも、普段、他大学の教員との交流が少ないため「大変参考になった」「同じ境遇で頑張ってきた方がいることがわかり励みになった」「モチベーションが上がった」といった肯定的なご意見が寄せられました。

今後も、甲信越・北陸エリアの看護職が安心して交流できる出会いの場となるよう、活動を継続していきたいと思っております。ご参加下さった皆様、お話いただいたお二人の先生方、誠にありがとうございました。



(参加者 14 名。ML メンバーも新たに増えました)

甲信越・北陸エリアネットワークコーディネーター一同